

広病第181号

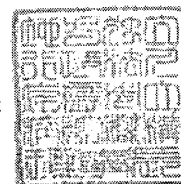
平成29年7月24日

広島市病院事業地方独立行政法人評価委員会

委員長 秋山 實利 様

地方独立行政法人広島市立病院機構

理事長 影本 正之



地方独立行政法人広島市立病院機構業務実績報告書（平成28年度）
の訂正について

平成29年6月29日付け広病第132号で提出した、地方独立行政法人広島市立病院機構業務実績報告書（平成28年度）について、別紙のとおり訂正します。

業務実績報告書の訂正について

(訂正する理由)

平成28年度業務実績報告書に記載誤りがありましたので、次のとおり訂正します。

[平成28年度業務実績報告書]

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の向上に関する目標を達成するため
とるべき措置

1 市立病院として担うべき医療

(1) 広島市民病院

10ページ

誤	正
<p>【一次から三次までの救急医療を24時間365日体制で提供】</p> <p>○ 一次から三次までの救急医療を24時間365日提供し、平成28年度は、救急車6,518台、救急患者<u>26,203人</u>を受け入れた。</p>	<p>【一次から三次までの救急医療を24時間365日体制で提供】</p> <p>○ 一次から三次までの救急医療を24時間365日提供し、平成28年度は、救急車6,518台、救急患者<u>32,721人</u>を受け入れた。</p>

(2) 安佐市民病院

21ページ

誤	正
<p>【早期リハビリテーションの充実】</p> <p>○ 各診療科と連携し、脳血管疾患、廃用症候群などに対する急性期リハビリテーションを実施した。また、がんやがんの治療により生じた障害等に対する二次障害を予防し、患者のQOL（生活の質）の向上を図るため作業療法士1名を増員した。</p>	<p>【早期リハビリテーションの充実】</p> <p>○ 各診療科と連携し、脳血管疾患、廃用症候群などに対する急性期リハビリテーションを実施した。また、がんやがんの治療により生じた障害等に対する二次障害を予防し、患者のQOL（生活の質）の向上を図った。</p>

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 業務運営体制の確立

(3) 病院事務室の機能強化

73ページ

誤	正
<p>【病院経営に精通した人材の民間等からの採用】</p> <p>○ 医療事務に係る専門知識を有している職員を確保するため、医事業務を管理職としての勤務経験がある者を1名採用した。</p>	<p>【病院経営に精通した人材の民間等からの採用】</p> <p>○ 医療事務に係る専門知識を有している職員を確保するため、医事業務を管理職としての勤務経験がある者の採用試験を行った（平成29年4月1日付採用1名）。</p>